

公益財団法人庭野平和財団 御中

2013 年度事業 中間報告書

平成 25 年 11 月 12 日

特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター

● 背景

本事業は、NGO とその周辺を取り巻く地域の『縁』とのつながりを模索しながら、持続的な組織運営モデルを構築することを目的とし、2012年から2014年までの3ヶ年プロジェクトとして実施している。

事務所を構える周辺地域には、様々な潜在的な支援者が埋もれているものであるが、とかく、こうした支援者を見落としがちにしているものである。従来は、こうした地域の潜在的な支援者『縁』とのつながりを活かした事業、又は支援者拡大に関する取り組みは消極的であるのが現状である。しかしながら、中小規模のNGO、特に地方で活動するNGOが組織運営力を高めることを考える際に、地域の「縁」とのつながりが有益な資源となりうるものと考えている。本事業を通して、地域の人的・資金的資源を組み入れた形での持続的な組織運営を実現するというモデルケースを構築していきたいと考えている。

● 事業概要

今年度の事業実施に際しては、1年目同様、2対象地域4団体（地球市民AGT かながわ/TPAK、WE21 ジャパン、アジア相互交流センター/ICAN、カレーズの会）の協力を得ながら実施している。また、菅氏（合同会社コーズアクション代表）、下澤氏（静岡文化芸術大学 教授）についても1年目同様アドバイザーとしてご協力いただき、事業を遂行している。

2年目の事業については、主に以下3つの取り組みを実施している。

- NGOの支援者動向の調査（ステークホルダー・マップの作成）
- アクションプランの作成・実施
- 「地域のNGOを元気にさせるためのツール」を作成

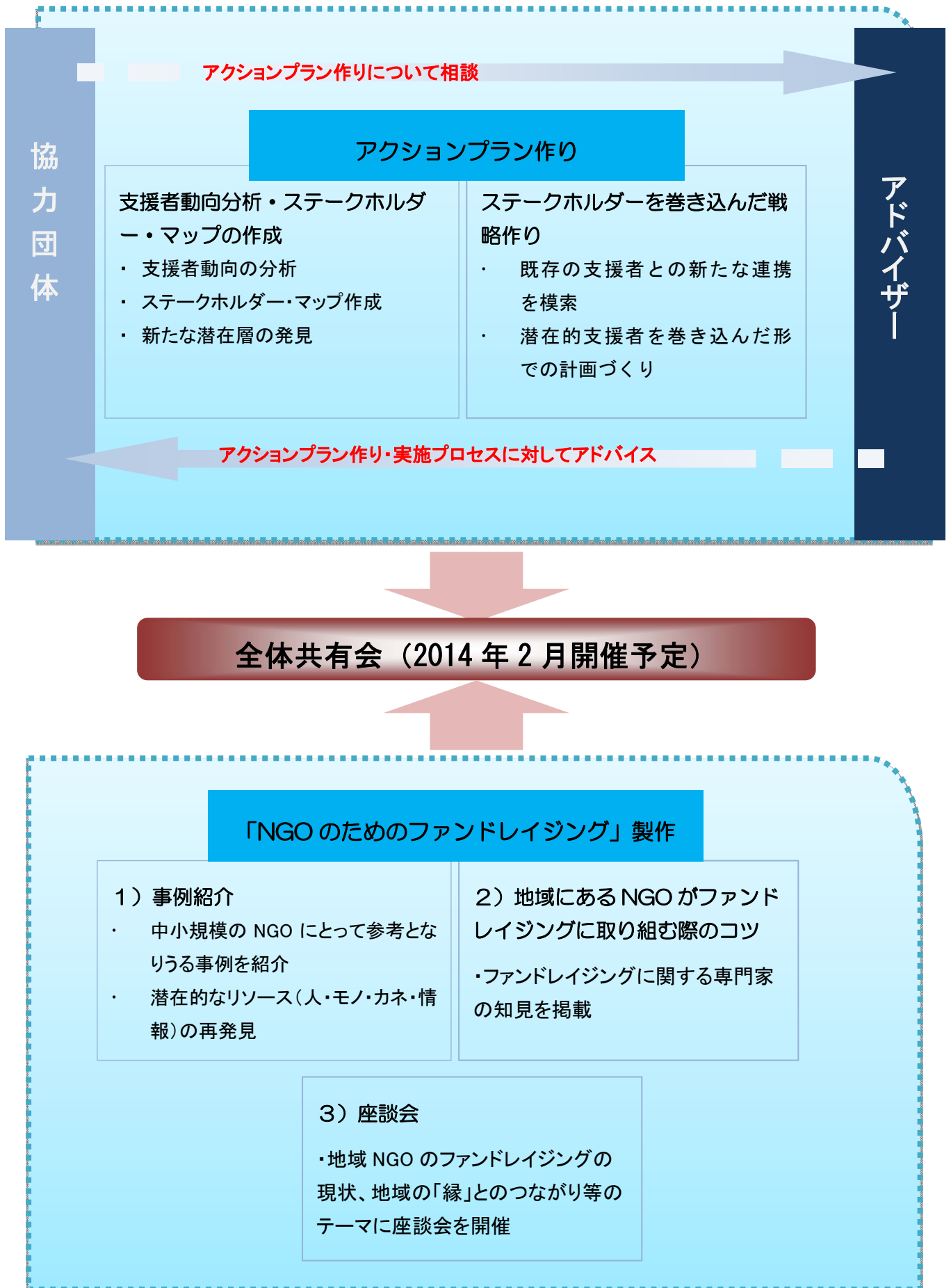
本事業1年目で実施した各対象地域の調査については、2年目で調査結果を取りまとめ、且つ、他団体にも参考情報として活用してもらえよう可視化（ステークホルダー・マップ作成）する。

また、アクションプランについては、2年目は具体的な実践の段階に入ってきており、今年度後半には全体共有会を開催し、アクションプランの進捗を報告する予定である（2014年2月開催予定）。

地域のNGOの持続的な組織運営、ファンドレイジング力向上を目的とする「地域のNGOを元気にさせるためのツール」については、本事業を通じて得られた知見（地域NGOのファンドレイジングの現状、支援者との接点のあり方等）や、その他NGOの成功事例などを掲載し、「（仮称）NGOのためのファンドレイジング」として冊子化する。常に時間と仕事に追われ、散々ファンドレイジングに取り組みながらなかなか成果を上げられずに諦めムードに入っている団体に対しても再チャレンジを促すことができるよう、読みやすい内容の読み物として仕上げたいと考えている。またこの冊子活用方法については、地域のネットワークNGOや国際交流機関を通じて、広範囲に配布したいと考えている。

	活動内容
1年目	・支援者及び資金調達動向について調査分析を実施 ・NGOを取り巻くステークホルダーとの座談会の開催 ・アクションプランの作成
2年目	・支援者動向の調査分析をもとに、ステークホルダー・マップを作成 ・アクションプランの作成・実践（近未来マップの作成） ・「地域NGOを元気にさせるツール」作成
3年目	・アクションプランの事例化 ・アクションプランの成果を他地域と共有

2年目の事業概要イメージ図：



● 事業進捗

アクションプラン作成・実施

アクションプランの作成においては、協力団体ごとにワークショップを実施し、アドバイザーにも参加してもらいながらアクションプラン作成に取り組んだ。尚、ワークショップについては、以下のとおり実施した。

- 6/4 @WE21 ジャパン
参加者：WE21 ジャパン事務局・理事メンバー・アドバイザー
- 7/1 @カレーズの会
参加者：カレーズの会・理事メンバー・アドバイザー
- 7/27 @ICAN
参加者：ICAN 事務局・アドバイザー・JANIC
- 10/16 @地球市民 ACT かながわ/TPAK
参加者：TPAK 事務局・アドバイザー・JANIC
- 10/22 @静岡文化芸術大学 下澤研究室
参加者：ICAN、カレーズの会、アドバイザー・JANIC
- 10/25 @WE21 ジャパン
参加者：WE21 ジャパン事務局・アドバイザー・JANIC

ワークショップには、事務局スタッフだけでなく理事メンバーにも参加してもらい、団体全体として「地域の縁とどう関係性を築いていくのか」を議論してもらった。ワークショップ以外に、メールでもアクションプランの進捗・成果をアドバイザーと共有し、適時、アドバイスを受けている。尚、各協力団体のアクションプランの内容については、別添資料①を参照。

冊子：「(仮称)地域の『縁』と NGO におけるファンドレイジング」作成

地域の NGO が持続的な活動を取り組む上で、喫緊の課題である「ファンドレイジング力」「支援者拡大」の2点を中心に、内容を構成している。また、散々ファンドレイジングに取り組みながらかなか成果を上げられずに諦めムードに入っている団体に対して再チャレンジを促すことができるよう、読みやすい内容の読み物として仕上げる予定である。冊子の目的、対象者については以下のとおりとなる。具体的な内容については、別添資料②を参照。

タイトル： 「NGO のためのファンドレイジング」

サブタイトル： 成功を生み出した8つの瞬間 ～「もう、やり尽くした」と諦めていませんか？～

目的：

- 1) ファンドレイジングに行き詰まっている NGO に対し、再チャレンジを促すような情報を提供すること
- 2) 潜在的リソースの中から自団体に適したリソースを再発見し、且つ、そのリソースを活用した形でのファンドレイジングプランを検討することができるようになっている。

対象：

- 1) 団体規模は1,000万円未満の小規模団体
- 2) ファンドレイジングについて悩みを抱えている NGO
- 3) さんざんファンドレイジングに取り組みながらかなか成果を上げられず、ファンドレイジングに対し嫌悪感すら抱いている NGO
- 4) 地域のつながりを重視している NGO、今後重視していきたいと考えている NGO

全体共有会 開催内容（予定）

- 目的： 1) 4 団体が実施しているアクションプランの成果・進捗を共有する。
 2) 「冊子：NGO のためのファンドレイジング」の公開
 3) 地域の NGO がファンドレイジングを取り組む際に役立つコツ・ヒントを得る。

対象者： ・ ファンドレイジングに関する課題を抱える小規模 NGO
 ・ 地域の縁との協働を模索している NGO

開催時期： 2014 年 2 月下旬 午後半日

実施場所： 東京

当日の内容： (全体共有会／14：00～17：00、懇親会／17：30～19:30)

14：00～

第 1 部： アクションプラン報告（4 団体より報告）

16：00～

第 2 部： パネルディスカッション

4 団体・アドバイザーに登壇いただき、参加者との意見交換・ディスカッション

17：30～

第 3 部： 懇親会

定 員： 30～40 名

● 今後のスケジュール

		～12 月	1 月	2 月	3 月	4 月～	
ア ク シ ョ ン プ ラ ン の 実 施 ・ 共 有	アクションプラン実施	◆—————▶					◆- - - - -▶
	全体共有会 企画決定	◆————▶					
	〃 広報開始		◆————▶				
	〃 開催				●		
	アクションプラン冊子				◆————▶	●	
「 NGO に お け る フ ァ ン ド レ イ ジ ン グ 」 冊 子 製 作	原稿製作	◆————▶					
	製本		◆————▶				
	共有会にて公開				●		